

【地域未来デザイン工学科 社会インフラ工学コース】

*コース移行は本人の希望と2年前期までの成績を考慮し決定

こんな人にお勧め

土木系技術者として社会の安全安心に貢献したい

鉄道や高速道路など、交通インフラの整備や維持管理を学びたい

冬にも強い、快適な生活を過ごせるインフラを作りたい

CADやGIS・GPSなど、最先端の調査・設計技術を身につけたい

安全で安心な住みやすいまちづくりを学びたい

ランドマークとなる橋やダム、トンネルを作りたい

活力のある地域の未来づくりに貢献したい

入学

地域未来デザイン工学科

基礎教育		専門教育：社会インフラ工学コース					
1年		2年		3年		4年	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
学科所属		コース配属				研究室配属	
基礎・教養・基礎専門 導入科目		専門コア		専門I		専門II 卒業研究	卒業研究 専門III
<ul style="list-style-type: none"> 工学基礎学力の向上と柔軟な発想力と広い視野を強化 <ul style="list-style-type: none"> 工学専門分野を学ぶ上で必要となる、数学、物理、化学といった工学基礎科目を充実 国際社会で活躍するための能力を育成するための科目を充実 柔軟な発想や特定の専門分野に偏らない幅広い視野を育成するリベラルアーツ科目を充実 主体的に「学ぶ力」や多面的・融合的かつ協働的に「考える力」を修得 工学技術者としての倫理観や職業観を修得 学科・コースの教育目標および専門分野の理解と学習意欲の向上 		<ul style="list-style-type: none"> 社会インフラ工学に関する基礎学力と問題解決能力の育成を重視 材料・構造・地盤・水工・計画・交通・環境システムや情報通信に関する基礎並びに応用科目と演習・実験科目、関連する周辺分野の科目、オホーツク地域をモデルとしたエンジニアリングデザイン科目を配置 様々な視点から社会インフラ工学に関する総合的な学習が可能な構成 地域特性や実務上の問題点と課題を発見し、地域の未来を見据えて社会インフラの設計・構築・維持・管理を遂行する専門技術者として社会で活躍できる能力を修得 		(指導教員専門分野) ・社会環境系 ・他専門分野系		◎資格取得に必要な選択科目等	
【特徴】 <ul style="list-style-type: none"> 基礎教育の充実、アクティブラーニングの充実、科目ナンバリング制導入 他コースの科目も履修可（広い視野と多面的・融合的思考力の育成） 学部・大学院の連続性、接続性を重視したカリキュラム編成 							
基礎教育		専門教育：機械知能・生体工学コース					
基礎教育		専門教育：情報デザイン・コミュニケーション工学コース					
基礎教育		専門教育：バイオ食品工学コース					
基礎教育		地球環境工学科 各専門コース					

卒業

卒業後の主な進路

北見工業大学大学院
博士前期課程

地方・国家公務員
国土交通省、北海道、帯広市、北見市など

建設業
ゼネコン(鹿島建設、大成建設、伊藤組土建、岩田地崎建設など)
マリコン(東洋建設、東亜建設工業など)
道路舗装(NIPPO、ガイアート・Kなど)

建設コンサルタント
日本工営、ドーコン、八千代エンジニアリング、中央コンサルタンツ、構研エンジニアリングなど

製造業(橋梁、鉄鋼、コンクリート製品)
川田テクノロジーズ、ドービー建設工業、會澤高圧コンクリートなど

運輸業、郵便業
JR北海道、日本通運、NEXCO東日本、日本郵政など

電気・ガス・水道業
北海道電力、北ガス、広域水道企業団など

複合サービス事業
農林水産業協同組合、JAきたみらいなど

情報通信業
NTTコミュニケーションズなど

育成能力

社会インフラ整備と保全に必要な土木工学の専門知識を学び、情報技術を活用して、少子高齢化社会における地域特性に応じた社会インフラの整備ができる能力を育成。

養成人材像

土木工学と情報通信に関する専門知識を基にして、地域の未来に相応しい社会インフラの整備や維持管理などに必要な広い専門的視野と国際的に通用する能力を有する人。